

平成 25 年度 復興支援の担い手の運営力強化実践事業

もっと磨こう！子どものキラキラ体験遊び支援事業

★ ★ アート遊び & 音遊び ★ ★

沿岸地域で、「子どものキラキラ体験遊び」アート遊び編と音遊び編を実施しました！！

「絵の具を使って思いきり自分を開放し、表現する」、「耳をよくすまして生音を聴き、合奏する」ことを目的に、子ども達の感性を磨く支援事業として、2月はアート遊びと音遊びを沿岸2箇所にて実施しました。

☆2月14日(金)に、野田村保育所の親子参観にて、音遊びを実施しました！

年長さんの子どもたち21名と、保護者の方19名にご参加いただきました。



さすが年長さん、クイズや楽器製作に工夫あり！ピアノとコントラバスに興味がある様子で触ったり、演奏に合わせてリズムをとる子の姿も。保護者の方にもノリよく踊っていただき、楽しい親子参観となりました。

☆2月26日(水)に、宮古市総合福祉センターにて、アート遊びを実施しました！

0歳から4歳の子どもたち7名と、保護者の方6名にご参加いただきました。



「もっとやりたかった」の声があり、色を塗ったダンボールをお持ち帰りするお母さん方もいて、大盛り上がりでした☆手足に塗る感触を楽しむ子や、色を混ぜることを楽しむ子がいて、とてもカラフルな世界が広がりました。思いきり気分転換できたかな？

研修会

☆2月26日(水)に、板垣崇志先生の研修会「命がかがやく造形表現」を開催しました！子育て支援者の方々にご参加いただきました！



大人はしばしば子どもたちに「作品」を作らせようとして、表現行為に介入することがある。子どもたちの表現することの価値は、表現している時間の中にある。「楽しい」という気持ち、喜びそのものが大切であり、指導とは子どもたちがそのような喜びが広がるように手助けすることだと、先生はお話されました。はっとさせられる内容で、これから子どもたちと関わっていく際に心がけたいことがたくさん聴けて、大変勉強になりました。